

女子戦の1周タイム“も”3号艇に注目!

▼艇番&1周タイムランク別の1～3着回数

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	平均
1号艇	1,031回	275回	126回	73回	35回	18回	1,558回
	1,851回	545回	291回	175回	92回	41回	2,995回
	55.7%	50.5%	43.3%	41.7%	38.0%	43.9%	52.0%
2号艇	134回	130回	84回	58回	50回	26回	482回
	621回	705回	554回	464回	353回	213回	2,910回
	21.6%	18.4%	15.2%	12.5%	14.2%	12.2%	16.5%
3号艇	109回	77回	71回	69回	61回	34回	421回
	453回	454回	569回	559回	507回	319回	2,861回
	24.1%	17.0%	12.5%	12.3%	12.0%	10.7%	14.7%
4号艇	58回	57回	57回	63回	48回	29回	312回
	453回	383回	486回	563回	504回	338回	2,727回
	12.8%	14.9%	11.7%	11.2%	9.50%	8.6%	11.4%
5号艇	15回	26回	28回	23回	20回	13回	125回
	376回	318回	377回	453回	538回	377回	2,439回
	4.0%	8.2%	7.4%	5.1%	3.7%	3.4%	5.1%
6号艇	6回	6回	14回	4回	4回	6回	40回
	342回	280回	328回	354回	411回	455回	2,170回
	1.8%	2.1%	4.3%	1.1%	1.0%	1.3%	1.8%
総計	1,353回	571回	380回	290回	218回	126回	2,938回
	4,096回	2,685回	2,605回	2,568回	2,405回	1,743回	16,102回
	33.0%	21.3%	14.6%	11.3%	9.1%	7.2%	18.2%

表の見方



※データは2023年
 10月12日～2024年
 10月12日を集計

少し目線を変えまして

ここ3回にわたってこのコーナーでは、1周タイム順位と着順の関係を調べてきた。ポートレース下関や大村、福岡といった1周タイムと着順の相関度が高いと算出されたレース場を中心に細かいデータの研究をレポートした。これらの研究から、1周タイムランクが高いと1号艇と3号艇の1着率の上昇が顕著で、逆に4号艇より外枠の1着・3連対率への影響は限定的という結果が見えてきた。レース場によっては6号艇の3連対率だけが異常に上昇していたり…なんてデータもあったので、引き続き細かい研究が必要な部分ではある。現在研究所が持っている過去1年のデータではサンプル数が不足しており今の時点ではなかなか結論づけることが難しい状況だが、今後データベースを拡充させていくことでこの問題は解決できるかもしれない。

さて今回は、これまで研究してきた1周タイムと場別での成績から少し視点を変えて、男女間でのような違いがあるのかに着目したいと思う。その中でも特に女子戦に絞り、1周タイムが着順にどのような影響を与えるのかを調査し、男女によるデータの傾向や特性を探ることで、新たな舟券戦略のヒントを見つけないかと考えている。

1号艇の1周タイムは関係なし!?

最初に目につくのが、女子戦における1号艇の1周タイムランクが着順に与える影響は限定的であること。平均1着率が52・0%であるのに対し、1位の際でも55・7%と、わずかな上昇に留まっている。これは場別での研究では見られなかった非常に特殊なケースだ。

そして注目すべきは2号艇と3号艇の1着率の上昇だ。2号艇の1周タイムが1位の際には、1着率が21・6%と平均よりも顕著に上昇している。また、3号艇では1周タイムが2位以上の場合に平均以上の1着率を記録し、1位の際にはなんと24・1%と平均1着率よりも約10%上昇する結果を見せた。これまでの1周タイム研究の中では最高の上昇率となっている。

一方、これまでの研究と同様に4号艇から6号艇の外枠については、やはり1周タイムが着順に与える影響がほとんど見られなかった。

今後の展望としては、1周タイムと決まり手のクロス分析をさらに進める予定だ。現在蓄積したデータをより展開予想や舟券に落としたデータにすることで1周タイムランク分析を締めくくりたい。